

来年4月には、薬学6年制の第1期生が入学する。しかし、迎え入れる側の大学は、相次ぐ薬科大学の新設、年限延長に伴う受験生の薬学部敬遠、少子化に伴う入学者の減少などから、強い危機感を募らせている。そのため各薬科大学・薬学部は、入学者を集めるために様々な工夫を凝らしており、その一つとして高校生や父兄に大学を紹介する「オープンキャンパス」の開催が活発だ。薬学部はオープンキャンパスで受験生に何を訴えているのか、明治薬科大学のケースを取材した。



コンピュータを利用した英語体験学習

受験生をゲットせよ！！

明治薬大のオープンキャンパスには、毎年多くの高校生や父兄が参加しており、7月末に開かれたオープンキャンパスには、今年も約1160人が集まった。

今回も薬学部の魅力を知ってもらうため、多くのイベントが企画された。中でも薬学部授業の実際が体験できる、①1日薬剤師さんになろう！②かゆみ止め軟膏を作ってみよう③筋肉の収縮を見よう④ゆで卵を生卵に変身-生命現象の基本分子、タンパク質の構造を探る⑤生薬から成分を抽出、分離してみよう⑥血液の中のタンパク質を見よう-臨床分析への入り口⑦くすりを合成してみよう-とい



かゆみ止め軟膏を作成

う7つの体験実習は大人気だった。

1日薬剤師コースでは、モデル薬局で模擬処方せんやコンピュータを活用して、患者に薬を手渡すまでを体験した。軟膏作成や薬の合成コースでは、高校生たちは初めて白衣に身を包んだことに、やや興奮の面持ちで、「軟膏剤の実習」や、アセトアニリドの合成などにチャレンジした。

6年制元年、薬大に危機感

当日はCALL教室(Computer Assisted Language Laboratory)も参加者に開放され、VOD(Video on Demand)やインターネット、CD-ROMを利用して、楽しみながら英語を学習できるシステムを体験した。講義形式のものでは「テーラーメイド医療時代の薬剤師の仕事とは?」「タンパク質ってどんなもの?」など、薬学関連の話題が分かりやすく解説された。

一方で進学相談コーナーも、薬学部進学を考える父兄や高校生で賑わった。相談コーナーでは、6年制移



血液中のタンパク質を見る

オープンキャンパスで打開

行後における同学の教育内容などに質問が集中したという。高校生の関心の対象や大学選びの基準は、各大学が6年制移行後にどのような教育・実習体制を組むかが、大きな比重を占めているようだ。



進学相談コーナーで個人面談

そうごう薬局には薬剤師の夢を実現する多彩なフィールドがあります。

URL:<http://www.sogo-medical.co.jp>

総合メディカルでは無限の可能性を秘めた皆さんと一緒に仕事をしたいと考えています。



よい医療は、よい経営から

総合メディカル株式会社

Tel:0120-535-787

mail:jinzai@sogo-medical.co.jp

